

令和7年度 小学部5年（訪問ⅡA課程） 国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	教科書／副教材等	担当者名
26	教科書「こくご☆☆」「こくご☆☆☆」、絵本、プリント、ドリル	国語担当1名

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に触れ、親しむことができるようにする。(小3段階) (思判表力) 出来事の順序を思い出す力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を身に付け、思い付いたり考えたりすることができるようにする。(小3段階) (学・人) 言葉がもつよさを感じるとともに図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。(小3段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期		(知及技) 出来事や経験したことを伝え合う体験を通して、いろいろな語句や文の表現に触れることができる。ウ(イ) (思判表力) 挨拶や電話の受け答えなど、決まった言い方を使うことができる。Aエ (学・人) 言葉で伝え合うよさを感じるとともに、言語感覚を養い、国語を大切にその能力の向上を図る態度を養う。(小3段階)	(知及技) 出来事や経験したことを伝え合う体験を通して、いろいろな語句や文の表現に触れることができる。 (思判表力) 挨拶や電話の受け答えなど、決まった言い方を使って話をしている。 (主学) 自分から進んで、気持ちや要求を表現しようとしている。	①『でんわ』	①簡単な要件をテレビ電話やオンラインを通して聞いたり話したりする。 ①相手に伝わりやすいように話し、必要なときは丁寧な言葉で話す。
		(知及技) ・日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方が分かる。ア(ウ) ・昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞き、言葉の響きやリズムに気付くことができる。ウ(ア) (思判表力) 日常生活に必要な語句や文、看板等を読み、必要な物を選んだり行動したりすることができる。Cイ (学・人) 言葉で伝え合うよさを感じるとともに、言語感覚を養い、国語を大切にその能力の向上を図る態度を養う。(小3段階)	(知及技) ・日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方が分かる。 ・昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞き、言葉の響きやリズムに気付こうとしている。 (思判表力) ・書かれている文字を読んでその通り行動しようとしている。 (学・人) 言葉の響きやリズムに親しもうとしている。	①『ひらがな』 ②『わらべうた』	①日常生活でよく使う長音、促音などが含まれた語句を繰り返し読む。 ①挿絵と絵カードのマッチング。 ②リズムや言葉の響きを楽しみながらわらべ歌遊びをする。
		(知及技) 日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方が分かる。ア(ウ) (思判表力) 日常生活に必要な語句や文、看板などを読み、必要な物を選んだり行動したりしようすることができる。Cウ (学・人) 言葉で伝え合うよさを感じるとともに、言語感覚を養い、国語を大切にその能力の向上を図る態度を養う。(小3段階)	(知及技) 日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方に気付く。 (思判表力) 日常生活に必要な語句や文、看板などを読み、必要な物を選んだり行動したりしようとする。 (主学) やりとりの楽しさを通して、必要なことを伝えようとしている。	①『かいもの』	①メモを見て、書かれている文字を正しく読んでその通りに行動したりする。 ①買い物をする場面を想定し、ロールプレイングして、相手に分かりやすい話し方やiPadやメモを活用した受け答えをする。
		(知及技) 昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞き、言葉の響きやリズムに気付くことができる。ウ(ア) (思判表力) ・絵本や易しい読み物などを読み、挿絵と結び付けて登場人物の行動や場面の様子などを想像することができる。Cア ・登場人物になったつもりで、音読したり演じたりすることができる。Cエ (学・人) 言葉で伝え合うよさを感じるとともに、言語感覚を養い、国語を大切にその能力の向上を図る態度を養う。(小3段階)	(知及技) 昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞き、言葉の響きやリズムに気付こうとしている。 (思判表力) ・絵本や易しい読み物などを読み、挿絵と結び付けて登場人物の行動や場面の様子などを想像しようとしている。 ・登場人物の気持ちを想像したり行動を理解しながら、演じようとしている。 (主学) 友達の演技に関心をもって劇遊びを鑑賞したり、意欲的に参加したりしようとしている。	①『おじいさんとねずみのおはなし』	①読み聞かせ話の内容を理解したり、登場人物の確認、新しい語句の確認をする。 ②役割設定をして劇遊びをする。

2 学 期	26	(知及技) 身近な人との会話や読み聞かせを通して、言葉には物事の内容を表す働きがあることに気付くようにする。ア (ア) (思判表力) 経験したことを思い浮かべて、伝えたいことを考えるようにする。Ai (学・人) 言葉で伝え合うよさを感じるとともに、言語感覚を養い、国語を大切にその能力の向上を図る態度を養う。(小3段階)	(知及技) 言葉には物事の内容を表す働きがあることに気付く。 (思判表力) 伝えたい内容を考えようとしている。 (主学) 簡単な指示や説明を聞き、自分で考えて行動しようとしている。	①『たのしかった遠足』	①動画や写真で校外学習や児童集会などの振り返りを行い、伝えたい内容を考える。 ①分からないことがあったら尋ねたり、簡単な指示に答えたりする。 ②日常生活の場面、状況の話を聞いたり、自分の経験を話したりする。
-------------	----	---	---	-------------	--

	(知及技) 日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方が分かる。ア(ウ) (思判表力) 日常生活で必要な語句や文、看板などを読み、必要な物を選んだり行動したりしようとすることができる。Cウ (学・人) 言葉で伝え合うよさを感じるとともに、言語感覚を養い、国語を大切にしておその能力の向上を図る態度を養う。(小3段階)	(知及技) 日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方に気付く。 (思判表力) 日常生活で必要な語句や文、看板などを読み、必要な物を選んだり行動したりしようとする。 (主学) かたかなの形に親しみをもちとっている。	①『かたかなをよもう』 ②『かたかなをさがそう』	①似ている文字に留意してかたかなを読む。 ②身の回りにあるかたかなの表記に気付き、発表する。
3 学期	(知及技) 日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方が分かる。ア(ウ) (思判表力) 絵本や易しい読み物などを読み、時間的な順序など内容の大体をとらえる事ができる。Cイ ウ (学・人) 言葉で伝え合うよさを感じるとともに、言語感覚を養い、国語を大切にしておその能力の向上を図る態度を養う。(小3段階)	(知及技) 文字を追って本文を読もうとしている。 (思判表力) 内容に関する発問に、本文から答えをみつけて応えようとしている。 (主学) 友達の発表や音読に関心をもって聞こうとしている。	①『のりもの』 ②『花』	①②読み聞かせを行い、内容に関する発問をして、本文の該当する箇所や語句を答える学習をする。 ①②促音、長音を含む平仮名や簡単な漢字の読み方などを確認しながら、本文の文字を追って読む。
	(知及技) 文の中における主語と述語との関係や助詞の使い方により、意味が変わることが分かる。ア(オ) (思判表力) 見聞きたり、経験したりしたことについて、簡単な語句や短い文を書こうとすることができる。Bウ (学・人) 言葉で伝え合うよさを感じるとともに、言語感覚を養い、国語を大切にしておその能力の向上を図る態度を養う。(小3段階)	(知及技) 文の中における主語と述語との関係や助詞の使い方により、意味が変わることに気付く。 (思判表力) 見聞きたり、経験したりしたことについて、簡単な語句や短い文を書こうとする。 (主学) ・短い文をすすんで書いたりなぞったりする。	①『ぶんをかこう』	①書くことの興味や関心をもち、身近な経験や出来事について、簡単な文を書く。
	(知及技) 読み聞かせなどに親しみ、いろいろな絵本や図鑑があることを知ることができるようにする。ウ(エ) (思判表力) 絵本や易しい読み物などを読み、時間的な順序など内容の大体をとらえる事ができる。Cイ (学・人) 言葉で伝え合うよさを感じるとともに、言語感覚を養い、国語を大切にしておその能力の向上を図る態度を養う。(小3段階)	(知及技) いろいろな絵本や図鑑に親しむ。 (思判表力) B 書くこと 絵本や易しい読み物を読み、内容の大体が分かる。 (主学) 興味がある本を見つけて、読もうとしている。	①『本に親しもう』	①様々な種類の本に触れる。 ①スクーリングで図書室へ行き、興味関心のあるほんを探す。
留意点 引継ぎ等				

令和7年度 小学部 5年（訪問ⅡA課程） 算数科 年間指導計画

単位数 ／配当時 数	教科書／副教材	担当者
26	「さんすう☆☆」[さんすう☆☆☆]、プリント、ドリル等	算数担当1名

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）数学的活動を通して、身の回りにある数量や図形に関心をもって関わるることについての技能を身につけるようにする。（小2段階） （思判表力）身の回りにある数量や図形に関心をもち、その性質や関係に気付いたり、表現したりする力を養う。（小2段階） （学・人）数量や図形に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら、興味をもって学習に向かう態度を養う。（小2段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期		（知及技）数の系列が分かり、順序や位置を表すのに数を用いることができる。（小2段階A数と計算ア(ア)㉔） （思判表力）数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、学習や生活の中で興味をもって生かすことができる。（小2段階A数と計算(イ)㉔） （学・人）数量に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶことができる。（小2段階A数と計算ウ）	（知・技）順序数と集合数の違いがわかっている。 （思・判・表）順序数と集合数の質問の違いに気づき、イラストなどを用いながら答えようとしている。 （主学）数字の読み書きに関心を持ち、教師や友達と一緒に数字を読んだり書いたりする楽しさを感じながら、進んで学習に取り組もうとしている。	「なんばんめ」	・たくさんある物（おはじき、人形など）の中から10個取り、横や縦に並べる。 ・問題（右から○番目、左から○番目等）を読んで、指定されたものを選ぶ。 ・問題（右から△個、左から△個等）を読んで、指定された個数を取る。
		（知及技）一つの数を二つの数に分けたり、二つの数を一つの数にまとめたりして表すことができる。（小2段階A数と計算ア(ア)㉔） （思判表力）数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、学習や生活の中で興味をもって生かすことができる。（小2段階A数と計算ア(イ)㉔） （学・人）数量に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶことができる。（小2段階A数と計算ウ）	（知・技）一つの数を二つの数に分けたり、二つの数を一つの数にまとめたりして表したりしている。 （思・判・表）数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、学習や生活の中で生かそうとしている。 （主学）数量に関心を持ち、教師や友達と一緒に数えたり数を取り出したりする楽しさを感じながら、進んで学習に取り組もうとしている。	「いくつといくつ」	・10までの数のにおいて、おはじきを使って、一つの数を二つに分けたり、二つの数を一つにまとめたりする。 ・数字カードやタイルを使って10の補数について調べる。
		（知及技）縦や横の線、十字、△や□を書くことができる。（小2段階B図形イ(ア)㉔） （思判表力）身の回りのものの形に関心に向け、丸や三角、四角を考えながら分けたり集めたりすることができる。（小2段階B図形イ(イ)㉔） （学・人）図形に関心をもち、学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶことができる。（小2段階B図形ウ）	（知・技）線と線がつながることで三角や四角が表せることに気づき、棒を並べたり鉛筆で書いたりしながら、3つの線で三角、4つの線で四角を表している。 （思・判・表）丸や三角、四角の特徴を考え、線がつながったいろいろな形の中から三角や四角を見つけている。 （主学）身の回りの物の形や図形に関心を持ち、教師や友達と一緒に線で形を表す楽しさを感じながら、進んで活動に取り組もうとしている。	「さんかく・しかくを作ってみよう」 「さんかく・しかくを書いてみよう」	・棒を並べて、いろいろな形を作ってみる。 ・棒を並べて、△と□を作る。 ・△や□の型抜きを使って、書いてみる。 ・△や□をなぞったり、点描画で△や□を書く。 ・△や□の模写をする。
		（知及技）ものとものを対応させることによって、ものの個数を比べ、同等、多少が分かる。（小2段階A数と計算ア(ア)㉔） （思判表力）数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かすことができる。（A数と計算ア(イ)㉔） （学・人）数量に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶことができる。（小2段階A数と計算ウ）	（知・技）2種類の具体物や絵カードを1つずつ対応させながら、10までのものの個数を比べて「同じ・多い・少ない」を答えている。 （思・判・表）2つのものの個数を比べて「同じ・多い・少ない」を考え、個数の違いを「○○と□□は同じ」「○○が多い」「○○が少ない」等と身振りや言葉で表現している。 （主学）数量の大きさに関心を持ち、教師や友達と一緒に数えたり比べたりする楽しさを感じながら、進んで学習に取り組もうとしている。	「くみあわせ」 「くらべてみよう」	・具体物を使った1対1対応の活動を行う。 ・プリント学習で様々な1対1対応の学習を行い、定着を図る。 ・「同じ」という用語を理解し、数の多少への意識を持つ。 ・数の違う2種類の具体物を用意し、対応させながら、「多い方」に気づく。 ・「多い方はどれ？」の質問に答えたり、「○○が多い」と言葉で表現する。 ・プリント学習で様々なものを対応させながら比べる学習を行い、定着を図る。 ※「少ない」も同様の流れで進める。

2 学 期	26	(知及技)ものの集まりや数詞と対応して数字が分かること。(小2段階A数と計算(ア)㊟) (思判表力)数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、学習や生活の中で興味をもって生かすことができる。(小2段階A数と計算(イ)㊿) (学・人)数量に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶことができる。(小2段階A数と計算ウ)	(知・技)10までの数の具体物や半具体物、イラストなどを見て、個数を正しく唱えながら数えている。 (思・判・表)数の数え方について考え、一方から順に数えたり、数えるものを操作し並べて数えたり、イラストにするしをつけて数えたり、工夫して数えている。また、学校生活の中で興味をもって数を数える様子が見られている。 (主学)数を数えることに関心を持ち、教師や友達と一緒に数える楽しさを感じながら、進んで学習に取り組もうとしている。	「10までのかず かぞえましょう」 「10までのかず」	・10までの数の具体物、半具体物、イラストを数える。(ボウリングゲームや魚釣りゲーム、タイル操作、プリント学習) ・いろいろなものの中から仲間集めをして数える。
		(知及技)数を10のまとまりとして数えたり、10のまとまりと端数に分けて数えたり書き表したりすることができる。(小3段階A数と計算(ア)㊟) (思判表力)数のまとまりに注目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、学習や生活で活かすことができる。(小3段階A数と計算(イ)㊿) (学・人)数量に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶことができる。(小2段階A数と計算ウ)	(知・技)10のまとまりをつくり、10のまとまりと端数に分けて数えたり、数字を書き表すことができる。 (思・判・表)タイル等を使って数を表現したり、10のまとまりに気づき、表現しようとしている。 (主学)数字の読み書きに関心を持ち、教師や友達と一緒に数字を読んだり書いたりする楽しさを感じながら、進んで学習に取り組もうとしている。	「大きな数のかきかた」☆☆	・10より大きい数については、10を1つのまとまりとしてとらえ、「じゅう」と「いくつ」とタイルを用いて表すようにする。
		(知及技)2つの量の大きさについて、一方を基準にして相対的に比べることができる。(C測定(ア)㊟) 長い・短い、重い・軽い、高い・低い及び広い・狭いなどの用語が分かること(C測定(ア)㊟) (思判表力)長さ、重さ、高さ及び広さなどの量を、一方を基準にして比べることに関心をもったり、量の大きさを用語を用いて表現したりすることができる。(C測定(イ)㊿) (学・人)数量や図形に関心を持ち、学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶことができる。(小2段階C測定ウ)	(知・技)「長い・短い」「重い・軽い」の用語が分かり、2つのものを見比べて、指示された長さ(長い・短い)、重さ(重い・軽い)のものを選び取っている。 (思・判・表)2つのものの量に着目し、触ったり見比べたり関心をもって比んでいる。また、2つのものを見比べて「長い・短い」「高い・低い」と言葉で表したり、「○は△より長い(短い)」など長さの違いを言い表したりしている。 (主学)「長さ」や「重さ」に関心を持ち、教師や友達と一緒に比べる楽しさを感じながら、進んで学習に取り組もうとしている。	「どっちが長い(短い)?」「どっちが重い(軽い)?」「どっちが高い(低い)?」「どっちが広い(狭い)?」	・異なる長さの2つの具体物や半具体物について「長い」方を選ぶ。(差が大きいものから徐々に差を小さくしていく) ・「長い」という用語を用いて表現する。 ・異なる長さの2つの具体物や半具体物について「短い」方を選ぶ。(差が大きいものから徐々に差を小さくしていく) ・「短い」という用語を用いて表現する。 ・いろいろな「長さ」比べをする(プリント学習含む)。比べる具体物が違うと理解が難しくなる場合は、長さ以外の属性が同じ形、同じ色から始め、慣れてきたら異なる形や色など、長さ以外の属性が異なる素材で進めていく。 ※「重さ」「高さ」「広さ」に関しても、上記と同様の流れで進める。
3 学 期		(知及技)ものとものを対応させることによって、ものの同等や多少がわかることができる。(小2段階Dデータの活用(イ)㊿) (思判表力)身の回りにあるものの個数に着目して絵グラフなどに表し、多少を読み取って表現することができる。(小2段階Dデータの活用(イ)㊿) (学・人)数量や図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶことができる。(小2段階)	(知・技)ものとものを対応させて、同等や多少が分かっている。 (思・判・表)身の回りにあるものの個数に着目して絵グラフなどに表し、多少を読み取って表現しようとしている。 (主学)表に表し比べることに関心を持ち、教師や友達と一緒に具体物を操作したり表をつくったりすることに楽しさを感じながら、進んで学習に取り組もうとしている。	『わけてみよう』 『かつのはどっち』 『あたったらはずれたら』	・身近なものを目的、用途、機能で分類する。 ・玉入れをして、比べ方を考える。 ・表を見比べて視覚的に同等・多少を判断する。 ・ボールの的あてゲームの結果を○×を用いた簡単な表を作成する。
		(知及技)日常生活の中で時刻を読むことができる。(小3段階C測定(イ)㊟) (思判表力)時刻の読み方を日常生活に生かして、時刻と生活を結び付けて表現することができる。(小3段階C測定(イ)㊿) (学・人)数量や図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶことができる。(小2段階)	(知・技)ものとものを対応させて、同等や多少が分かっている。 (思・判・表)身の回りにあるものの個数に着目して絵グラフなどに表し、多少を読み取って表現しようとしている。 (主学)自分の生活と時刻に関心を持って進んで学習に取り組もうとしている。	『とけい』☆☆☆	・短い針は「○時」を表すことを確認する。 ・長い針は「○分」を表すことを確認する。 ・日常生活の中で時刻を読み取り確認する。
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部5年（訪問Ⅱ A課程） 外国語活動 年間指導計画

単位数 ／配当時数		教科書／副教材等			担当者名
1		Let's Try！ 1（文部科学省）、絵本等			外国語活動担当1名
目標：（知及技）知識及び技能（思判表力）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等 評価：（知・技）知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（主学）主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		（知及技） 外国語を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、日本語と外国語との音声の違い等に気づくとともに、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする。 （思判表力） 身近で簡単な事柄について外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気落ちなどを伝えあう力の素地を養う。 （学・人） 外国語を通して、外国の文化などに触れながら、言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	1	（知及技） 英語の歌や日常生活になじみのある語などを聞き、音声やリズムに親しむことができる。 （思判表力） 表情やジェスチャーを工夫しながら挨拶をすることができる。 （学・人） 外国の文化などに触れながら、進んでコミュニケーションを図ることができる。	（知・技） 英語の歌や日常生活になじみのある語などを聞き、音声やリズムに親しむことができる。 （思・判・表） 表情やジェスチャーを工夫しながら挨拶をしようとしている。 （主学） 外国の文化などに触れながら、進んでコミュニケーションを図ろうとしている。	・英語の歌をきこう ・英語で挨拶をしよう	・英語の歌を聴く。 ・（先生や家族）友達と挨拶をしてジェスチャーを交えて自分の様子や状態を伝える。
2 学期		（知及技） 日本語と英語の音声の違いに気づき、身の回りのものの言い方や、何が好きかを尋ねたり答えたりする表現になれ親しむことができる。 （思判表力） 身近で簡単な事柄について、相手の働きかけに応じようすることができる。 （学・人） 相手に伝わるように工夫しながら、何が好きかを尋ねたり答えたりしようすることができる。	（知・技） 日本語と英語の音声の違いに気づき、身の回りのものの言い方や、何が好きかを尋ねたり答えたりする表現になれ親しもうとしている。 （思・判・表） 何が好きかを尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。 （主学） 相手に伝わるように工夫しながら、何が好きかを尋ねたり答えたりしようとしている。	I like blue.好きなものをつたえよう What do you like ？何が好き？	・自分の好きなものについて話したり、質問に答えたりする。 ・どのようなものが好きかを尋ねたり、答えたりして伝え合う。
3 学期		（知及技） 英語の歌や日常生活になじみのある語などを聞き、音声やリズムに親しむことができる。 （思判表力） 表情やジェスチャーを工夫しながら挨拶をすることができる。 （学・人） 外国の文化などに触れながら、進んでコミュニケーションを図ることができる。	（知・技） 英語の歌や日常生活になじみのある語などを聞き、音声やリズムに親しむことができる。 （思・判・表） 表情やジェスチャーを工夫しながら挨拶をしようとしている。 （主学） 外国の文化などに触れながら、進んでコミュニケーションを図ろうとしている。	・私の家族 ・干支について ・1年間のまとめ	・干支（動物）のイラストを見たり、ゲームを通して日本語と英語の音声表現の違いを見つける。 ・歌の動画を視聴して、歌ったり、手足を動かしたりする。
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部5年（ 訪問ⅡA課程 ） 生活科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	教科書／副教材等	担当者名
14	「せいかつ☆☆」 「せいかつ☆☆☆」	生活科担当1名

目標：（知・技）知識及び技能 （思・判・表）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主・学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知・技）活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよき、それらの関わりについて気付くとともに、生活に必要な習慣や技能を身に付けるようにする。（3段階） （思・判・表）自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会及び自然と自分との関わりについて理解し、考えたことを表現することができるようにする。（3段階） （学・人）自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会および自然について自ら働きかけ、意欲や自信を持って学んだり、生活を豊かにしようとしたりする態度を養う。（3段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
一学期		ア 基本的な生活習慣 3段階 （知・技）日常生活に必要な身の回りの処理等に関する知識や技能を身に付けることができる。 （思・判・表）必要な身の回りの処理や集団での基本的な生活習慣が分かり、できることに取り組むことができる。 （学・人）自分のことに取り組むことができる。	ア 基本的な生活習慣 3段階 （知・技）日常生活に必要な身の回りの処理等に関する知識や技能を身に付けることができる。 （思・判・表）必要な身の回りの処理や集団での基本的な生活習慣が分かり、できることに取り組むことができる。 （学・人）自分のことに取り組むことができる。	「1人でやってみよう」	・学習の準備をしたり、身の回りの整理整頓をする。 ・自ら取り組んだり、部分的に教師の支援を受けたりしながらみだしなみを整えたり、身の回りの整理整頓をする。
二学期		イ 安全 3段階 （知・技）安全や防災に関わる知識や技能を身に付けられる。 （思・判・表）日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするように心がけることができる。 （学・人）安全や防災に関わる学習活動を通して、生活に生かそうとする態度を養う。	イ 安全 （知・技）安全や防災に関わる知識や技能を身に付けようとしている。 （思・判・表）日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするように心がけようとしている。 （学・人）安全や防災に関わる学習活動を通して、生活に生かそうとしている。	「じぶんのあんぜんはじぶんでまもろう」「さいがいにそなえて」	・様々な災害の種類を知るとともに、防災への準備や災害時の適切な行動を考え、防災意識を高めていく。
三学期		エ 遊び 3段階 （知・技）きまりのある遊びや教師や友達と仲良く遊ぶことなどの知識や技能を身に付けることができる。 （思・判・表）日常生活の遊びで、教師や友達と関わりを持ち、きまりを守ったり、遊びを工夫し発展させたりして、仲良く遊ぼうとする態度を養う。 （学・人）日常生活の中での遊びに関わる学習活動を通して、充実感を持ったり教師や友達と主体的に関わろうとする態度を養う。	エ 遊び （知・技）きまりのある遊びや教師や友達と仲良く遊ぶことなどの知識や技能を身に付けようとしている。 （思・判・表）日常生活の遊びで、教師や友達と関わりを持ち、きまりを守ったり、遊びを工夫し発展させたりして、仲良く遊ぼうとしている。 （学・人）日常生活の中での遊びに関わる学習活動を通して、充実感を持ったり教師や友達と主体的に関わろうとしている。	「いっしょにあそぼう」☆☆ 「なかよくあそぼう」	・友達や教師と一緒に遊びを楽しむ、共に遊ぶ心地よさや充実感を味わう。 ・遊びの中で決まりを守ったりする大切さを知る。
		オ 人との関わり 3段階 （知・技）身近な人との簡単な対応などをするための知識や技能を身に付けることができる。 （思・判・表）身近な人と自分の関わりが分かり、1人で簡単な対応などを知ろうとすることができる。 （学・人）身近な人との関わりの中で、人との対応の仕方を学習し、主体的に関わろうとする態度を養う。	オ 人との関わり （知・技）身近な人との簡単な対応などをするための知識や技能を身に付けようとしている。 （思・判・表）身近な人と自分の関わりが分かり、1人で簡単な対応などを知ろうとしている。 （学・人）身近な人との関わりの中で、人との対応の仕方を学習し、主体的に関わろうとしている。	「はなしてみよう」「きもちをつたえよう」	・日常生活の中で経験したことや見聞きしたことを教師や家族、友達に伝える。 ・お礼や謝罪等の気持ちを相手に伝える。
		カ 役割 2段階 （知・技）簡単な役割について知り、その役割を果たすための知識や技能を身に付ける。 （思・判・表）身近な集団に参加し、簡単な役割を果たそうとする。 （学・人）様々な集団活動に参加し、主体的に簡単な役割に取り組もうとする。	カ 役割 （知・技）簡単な役割について知り、その役割を果たすための知識や技能を身に付けようとしている。 （思・判・表）様々な集団活動に進んで参加し、簡単な役割を果たそうとしている。 （学・人）様々な集団活動に参加し、主体的に簡単な役割に取り組もうとしている。	『自分の役割を考えよう』『自分の役割を果たそう』	・「当番活動」「誕生会」「遠足」「交流会」等 ・様々な役割の中で分担された役割を遂行することの大切さを知り、活動の見通しを持って自分の役割を果たす。

14	キ 手伝い・仕事 3段階 (知及技) 手伝いや仕事をするための知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 日常生活の手伝いや仕事を進んでしようとしていくことができる。 (学・人) 教師の援助を受けながら、意欲的に手伝いや仕事に取り組むことができる。	キ 手伝い・仕事 3段階 (知及技) 手伝いや仕事をするための知識や技能を身に付けようとしている。 (思判表力) 日常生活の手伝いや仕事を進んでしようとしている。 (学・人) 教師の援助を受けながら、意欲的に手伝いや仕事に取り組もうとしている。	「ホットケーキづくりを手づだおう」 「手げいに チャレンジ」	・簡単な調理などの手伝いをする。 ・手芸など簡単な制作活動を行う。
	ク 金銭のあつかい 2段階 (知及技) 金銭の扱い方などを知ることができる。 (思判表力) 身近な生活の中で、教師に援助を求めながら買い物し、金銭の大切さや必要性について気付くことができる。 (学・人) 買い物の楽しさを味わうことができる。	ク 金銭のあつかい (知及技) 金銭の扱い方などを知ることができたか。 (思判表力) 身近な生活の中で、教師に援助を求めながら買い物し、金銭の大切さや必要性について気付くことができたか。 (学・人) 買い物の楽しさを味わうことができたか。	「かいもの」 「おかねは たいせつ」	・お金の種類や、お金の大切さを知る。 ・買い物の模擬体験をして、実際の生活の場面で活かせるようにする。
	コ 社会の仕組みと公共施設 2段階 (知及技) 身近な社会の仕組みや公共施設などの使い方を知ることができる。 (思判表力) 身近な社会の仕組みや公共施設が気付き、それらを表現することができる。 (学・人) 身近な社会の仕組みや公共施設に気付き、活用しようとしていくことができる。	コ 社会の仕組みと公共施設 (知及技) 身近な社会の仕組みや公共施設などの使い方を知ろうとしている。 (思判表力) 身近な社会の仕組みや公共施設が気付き、それらを表現しようとしている。 (学・人) 身近な社会の仕組みや公共施設が気付き、活用しようとしている。	「わたしたちのまち」 「校外学習へ行こう」	・自分の住んでいる地域にある公共施設や自然物について調べる。 ・自分の住んでいる地域には、様々が店があることに気づく。 ・校外学習を通して、学校周辺の様子を知る。
	サ 生命・自然 3段階 (知及技) 日常生活に関わりのある生命や自然について関心をもって調べることができる。 (思判表力) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現することができる。 (学・人) 栽培学習や天気調べを通して、生命や自然の特徴や変化などについて気付いたこと、分かったことを表現する力を育む。	サ 生命・自然 3段階 (知及技) 日常生活に関わりのある生命や自然について関心をもって調べようとしている。 (思判表力) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとしている。 (学・人) 栽培学習や天気調べを通して、生命や自然の特徴や変化などについて気付いたこと、分かったことを表現しようとしている。	「花をそだてよう」 「草花や 木のはであそぼう」 「空と天気」	・植物の扱い方や育て方等を確認して、育てる。 ・草花、野菜、果実、木の実などの具体物に五感を通して触れ、その特徴や変化について知る。 ・1年を通して季節ごとの空を観察する。 ・季節が移り変わることに気付く、気温や天候等の変化を感じる。
	シ ものの仕組みと働き 2段階 知及技 身近にあるものの仕組みや働きについて知ることができる。 思判表力 身近にあるものの仕組みや働きが分かり、それらを表現しようとしていくことができる。 学・人 身近にあるものの仕組みや働きについて進んで調べようとしていくことができる。	シ ものの仕組みと働き 知及技 身近にあるものの仕組みや働きについて知ろうとしている。 思判表力 身近にあるものの仕組みや働きが分かり、それらを表現しようとしている。 学・人 身近にあるものの仕組みや働きについて進んで調べようとしている。	「もののおもさ」 「かぜやゴムのちから」	・様々な身の回りの重さを比べる。 ・風やゴムの力は物を動かすことができることを知る。
留意点 引継ぎ等				

令和7年度 小学部 5年(訪問ⅡA課程) 音楽科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	教科書／副教材等	担当者名
10	小学生の音楽4, おんがく☆☆, おんがく☆☆☆	音楽担当1名

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 曲名や曲想と音楽のつくりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。(小3段階) (思判表力) 音楽表現に対する思いを持つことや、曲や演奏の楽しさを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。(小3段階) (学・人) 音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に興味を持つと共に、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。(小3段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
一学期	10	【歌唱】 (知及技) ・歌詞の表す様子、旋律、リズムや曲想との関わりについて気付き、思いにあった歌い方で歌うことができる。(小3段階A7) (思判表力) ・歌唱表現についての知識や技能を得たり、生かしたりしながら、どのように歌うかについて思いをもつことができる。(小3段階A7) (学・人) ・教師や友達と一緒に音楽活動を楽しもうとすることができる。(小3段階)	【歌唱】 (知及技) ・歌詞の表す様子、旋律、リズムや曲想との関わりについて気付き、思いにあった歌い方で歌おうとしている。 (思判表力) ・歌唱表現についての知識や技能を得たり、生かしたりしながら、どのように歌うかについて思いをもとうとしている。 (学・人) ・教師や友達と一緒に音楽活動を楽しもうとしている。	・楽しく表現してみよう	・季節や行事の歌等聞きなじみのある歌を手話を交えて自分なりに歌う。 『校歌』 『やっほっほなつやすみ』 『にじ』 『パレード』等
		【器楽】 (知及技) ・リズム、速度や強弱、楽器の音色の違いに気付き、簡単な楽譜を見て身近な打楽器や旋律楽器を演奏することができる。(小3段階A1) (思判表力) ・リズム、速度や強弱などを意識しながら、曲の演奏の楽しさを見い出して聴いたり、リズムの違いを生かして表現することができる。(小3段階A1) (学・人) ・教師や友達と一緒に音楽活動を楽しもうとすることができる。(小3段階)	【器楽】 (知及技) ・リズム、速度や強弱、楽器の音色の違いに気付き、簡単な楽譜を見て身近な打楽器や旋律楽器を演奏しようとしている。 (思判表力) ・リズム、速度や強弱などを意識しながら、曲の演奏の楽しさを見い出して聴いたり、リズムの違いを生かして表現しようとしている。 (主学) ・教師や友達と一緒に音楽活動を楽しもうとしている。	・リズムに合わせてみよう	・タンバリン、鳴子、打楽器等を使用し師と一緒に簡単なリズム打ちする。 ・鍵盤楽器で簡単な旋律を弾いたりする。 ・様々な楽器の音色の違いを知る。 『かえるのがっしょう』 『きらきらぼし』等
		【音楽づくり】 (知及技) ・身の回りの様々な音の特徴や音のつながりの特徴に気付き、教師と一緒に音を選び、簡単な音楽づくりができる。(小2段階A7) (思判表力) ・音遊びを通して、音の面白さに気付き、音や音楽で表現することができる。(小2段階A7) (学・人) ・教師と一緒に音楽づくりをする楽しさを味わうことができる。(小2段階)	【音楽づくり】 (知及技) ・身の回りの様々な音の特徴や音のつながりの特徴に気付き、教師と一緒に音を選んで簡単な音楽づくりをしている。 (思判表力) ・音遊びを通して、音の面白さに気付き、音や音楽で表現している。 (主学) ・教師と一緒に音楽づくりをする楽しさを味わおうとしている。	・好きな音を見つけよう	・鈴、タンバリン、鳴子、打楽器等の楽器を演奏して、好きな音を見つける。 『ドレミのうた』 『たたたん びょん』等
二学期	10				
三学期		【身体表現】 (知及技) ・曲のリズム、速度、旋律と曲名、拍やリズムを表す言葉やかけ声、歌詞の一部の関わりについて気付き、思判を見たり、拍やリズム、旋律を意識したりして、様々な体の動きで表現することができる。(小3段階A1) (思判表力) ・簡単なリズムや旋律の特徴、歌詞を感じ取り、体を動かすことについて思いをもつことができる。(小3段階A1) (学・人) ・教師や友達と一緒に音楽活動を楽しもうとすることができる。(小3段階)	【身体表現】 (知及技) ・曲のリズム、速度、旋律と曲名、拍やリズムを表す言葉やかけ声、歌詞の一部の関わりについて気付き、思判を見たり、拍やリズム、旋律を意識したりして、様々な体の動きで表現しようとしている。 (思判表力) ・簡単なリズムや旋律の特徴、歌詞を感じ取り、体を動かすことについて思いをもとうとしている。 (学・人) ・教師や友達と一緒に音楽活動を楽しもうとしている。	・曲を聴いて、体で表現しよう	・曲を雰囲気を感じて、体を動かす。 ・曲や歌詞の内容に合わせた動きを表現する。 ・リズムや速さ、強弱を捉えて表現する。 『手遊び歌』 『ミュージックケア』等

	【鑑賞】 (知及技) ・季節の音楽や身のまわり親しみのある演奏等に触れて、好きな音色や楽器の音を見付けることができる。(小2段階B7) (思判表力) ・鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴くことができる。(小2段階B7) (学・人) ・音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもつことができる(2段階)。	【鑑賞】 (知及技) ・季節の音楽や身のまわり親しみのある演奏等に触れて、好きな音色や楽器の音を見付けようとしている。 (思判表力) ・鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴いている。 (主学) ・教師と一緒に音楽に合わせて体を動かしたり、リズムを取ったりする等、自分なりの楽しみ方で学習に参加しようとしている。	・好きな音や音楽を聴いたり、パネルシアターや動画を観たり、音楽の雰囲気を感じよう。	・動画やパネルシアター等を鑑賞したり操作したりして楽しむことができる。 『白鳥（動物の謝肉祭）』 『メヌエット』 『あめふりくまのこ』等
留意点 引継ぎ等				

令和7年度 小学部 5年（訪問Ⅱ A課程） 図画工作科 年間指導計画

単位数 ／配当時数		教科書／副教材等		担当者名		
17				図画工作担当1名		
目標：（知及技）知識及び技能（思判表力）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等 評価：（知・技）知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（主学）主体的に学習に取り組む態度						
年間目標		（知及技）形や色などの造形的な視点に気付き、表したいことに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫してつくるようにする。（小3段階） （思判表力）造形的なよさや美しさ、表したいことや表し方などについて考え、発想や構想をしたり、身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができる。（小3段階） （学・人）進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、形や色などに関わることがより楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。（小3段階）				
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容	
1 学期	17	A【表現】 （知及技） 身近な材料や用具を使い、工夫して絵を描いたり、作品をつくったりすることができる。 （思判表力） 材料や、感じたこと、想像したこと、見たこと、思ったことから表したいことを思いつくことができる。 （学・人） 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことを楽しむことができる。	A【表現】 （知・技） 身近な材料や用具を使い、工夫して絵を描いたり、作品をつくろうとしている。 （思判表力） 材料や、感じたこと、想像したこと、見たこと、思ったことから表したいことを思いつくこととしている。 （学・人） 進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことを楽しむことができる。	A【表現】 （造形遊び） 「いろいろな用具をつかってかこう」 「やぶいてつくろう」 「べったんコロコロ、トントントン」 「いろいろなでこぼこを見つけよう」 「ゴムでつくろう」 「モダンテクニックを知ろう」 「版画をつくろう」	A【表現】 ・マジックやクレヨン、絵の具等で様々な点や線等をかく。 ・マジックやクレヨン、絵の具等で絵を描くなどの活動 ・様々な紙やその他の素材を折る、引っ張る、破っていろいろな形をつくる。 ・スタンプやローラー、様々な素材や道具のかたを絵の具等でうつして模様をつける。 ・指や手、足等を使ってペインティングをする。 ・様々な凹凸を使用してこすり出しにより模様をつける ・ゴムを使って動く玩具を作る。	
		B【鑑賞】 （知及技） 自分の感覚や行為を通して、形や色などの感じに気付くことができる。 （思判表力） 自分たちの作品や、日常の中にあるものの形や色、表し方の面白さについて感じ取り、自分の見方や感じ方を広げることができる。 （学・人） 自分の作品や友達の作品を見たり、大切にしたりすることができる。	B【鑑賞】 （知及技） 自分の感覚や行為を通して、形や色などの感じに気付くこととしている。 （思判表力） 自分たちの作品や、日常の中にあるものの形や色、表し方の面白さについて感じ取り、自分の見方や感じ方を広げようとしている。 （学・人） 自分の作品や友達の作品を見たり、大切にしたりすることができる。	（立体に表す活動） 「にぎってつくろう」 「はろう！つなげよう！」 「ひらひらゆらそう」 「ひかりとかげえ」	・紙類や粘土等を丸める、のばす、握る活動 ・粘土で型抜きをする活動 ・ビーズ等で飾る。 ・アルミ箔を丸める等。 ・紙等を糊で貼る活動 ・紙等をテープや両面テープで貼る活動 ・テープ類や紐類、作った飾りを風に揺らして飾りの見え方を楽しむ。 ・カラーセロファンに光を当てたり、影を作ったりしていろいろな光や形にきづく。 ・色が重なっていく様子や重なったいろに気付く。 ・心地よい音や好きな音の鳴るものや材料を使って、たたく・振る・こする等をしておとが鳴る楽器をつくる。	
2 学期			【共通事項】 （知及技） 自分の感覚や行為を通して、形や色などの感じに気付くことができる。 （思判表力） 形や色など感じを基に、自分のイメージをもつことができる。 （学・人） 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、つくりだすことの喜びを味わうとともに、感性を育み、形や色などに関わる事により楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養うことができる。	【共通事項】 （知及技） 自分の感覚や行為を通して、形や色などの感じに気付くことができる。 （思判表力） 形や色など感じを基に、自分のイメージをもつことができる。 （学・人） 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、つくりだすことの喜びを味わうとともに、感性を育み、形や色などに関わる事により楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養うことができる。	B【鑑賞】 「いろいろな素材の感触を楽しもう」 ・粘土 ・紙、花紙 ・風船、ビニール ・絵の具 ・葉、花、豆などの自然物等 「いろいろなものを見よう」 ・自然物を見よう ・作品を見よう	B【鑑賞】 いろいろなものを見よう ・自然物や人工物など、身近にあるものを目で見ると、手や足、身体全体で触れる。 ・ものに力を加えてその変化を見る、感じる。 ・身の回りのものを見る。 ・自分の作った作品や友達の作品等を見る。
3 学期						
留意点 引継ぎ等						

令和7年度 小学部5年 （訪問ⅡA課程） 体育科 年間指導計画

単位数 ／配当時数		教科書／副教材等			担当者名
6					体育担当1名
目標：（知及技）知識及び技能（思判表力）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等 評価：（知・技）知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（主学）主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		（知及技）教師の支援を受けながら、楽しく基本的な運動ができるようにするとともに、健康な生活に必要な事柄ができるようにする。（小2段階） （思判表力）基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現できるようにするとともに、健康な生活に向け、感じたことを他者に伝える力を養う。（小2段階） （学・人）簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく運動をしようとしたり、健康に必要な事柄をしようとしたりする態度を養う。（小2段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	6	（知及技） 教師の支援を受けながら、楽しく基本的な体づくり運動をすることができる。（小2段階Aア） （思判表力） 基本的な体づくり運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。（小2段階） （学・人） 簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、基本的な体づくり運動をしようすることができる。（小2段階）	（知及技） 教師の支援を受けながら、楽しく基本的な体づくり運動をしようとしている。 （思判表力） 基本的な体づくり運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現しようとしている。 （学・人） 簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、基本的な体づくり運動をしようとしている。	【体づくり運動】 ・からだを動かそう	・教師と一緒に揺れる等の感覚を味わう。 ・曲に合わせて簡単な動作の模倣を行いながら身体のバランス感覚を養う。
		（知及技） 教師の支援を受けながら、うがいなどの健康な生活に必要な事柄をすることができる。（小2段階Gア） （思判表力） 健康な生活に必要な事柄に気付き、教師に伝えることができる。（小2段階Gイ） （学・人） 簡単な合図や指示に従って、健康に必要な事柄をしようすることができる。（小2段階ウ）	（知・技） 教師の支援を受けながら、うがいなどの健康な生活に必要な事柄をしようとしている。 （思・判・表） 健康な生活に必要な事柄に気付き、教師に伝えようとしている。 （主学） 簡単な合図や指示に従って、健康に必要な事柄をしようとしている。	【保健】 ・自分の体調を知ろう 「健康チェック」	・健康や身体の変化について知る。 ・自分の体調について他者に知らせる。
		（知及技） 教師の支援を受けながら、楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをすることができる。（小2段階Eア） （思判表力） ボールを使った基本的な運動やゲームに慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。（小2段階Eイ） （学・人） 簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、ボールを使った基本的な運動やゲームをしようすることができる。（小2段階Eウ）	（知・技） 教師の支援を受けながら楽しくボールをつかんだり、離したり、転がしたりすることができる。 （思・判・表） 強く転がしたり、ねらって転がしたりするなど、ボールを使って体を動かす楽しさや心地よさを笑顔や言葉で表そうとすることができる。 （主学） 教師の言葉かけを聞いて順番やルールを守り、練習やゲームに取り組んだり、友達を応援したりなど、みんなで楽しく安全に活動しようすることができる。	【ボールを使った運動やゲーム】 ・ボールを使ったゲームをしよう 「ボーリング、卓球、コンタック、風船バレー等」	・ボールを「つかむ」「離す」「転がす」「なげる」などの簡単なボール操作をする。 ・簡単なルールを守ってゲームを行う。
3学期		（知及技） 教師の支援を受けながら、音楽に合わせて楽しく表現運動をすることができる。（小2段階Fア） （思判表力） 基本的な表現運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。（小2段階Fイ） （学・人） 簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、基本的な表現運動をしようすることができる。（小2段階Fウ）	（知・技） 教師の支援をうけながら、部分的に動きを模倣して楽しく身体を動かすことができる。 （思・判・表） 弾んだり身体を揺らしたりして音楽の楽しさを感じて笑顔や言葉で表そうとすることができる。 （主学） 簡単な決まりを守って、友達と一緒に楽しく音楽に合わせて動いたり、止まったりしようすることができる。	【表現運動】 ・音楽に合わせて体を動かそう 「ダンス、ラジオ体操、伝承あそび等」	・部分的に動きを模倣したり、教師の支援を受けながら、体を動かしたりする。 ・児童の実態に合わせて、教師と一緒にいろいろな手遊びやふれあい遊び、揺れ遊び、伝承遊び等を行う。
		留意点 引継ぎ等			

令和7年度 小学部 5年（訪問Ⅱ A 課程） 特別活動 年間指導計画					
単位数 ／配当時数		教科書／副教材等		担当者名	
2				特別活動担当1名	
目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		（知及技）多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。 （思判表力）集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。 （学・人）自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
一学期	2	（知及技）各学校行事について知るとともに、各学校行事に必要なことを理解し、それぞれの学校行事のねらいや内容に即した行動の仕方や習慣を身に付けることができる。 （思判表力）学校行事を通して学校生活の充実を図り、大きな集団による集団活動や体験的な活動に協力して取り組むことができる。 （学・人）学校行事を通して身に付けたことを生かして、多様な他者と尊重し合いながら協働し、公共の精神を養い、よりよい生活をつくらうとする態度を養うことができる。	（知・技）各学校行事について知るとともに、各学校行事に必要なことを理解し、それぞれの学校行事のねらいや内容に即した行動の仕方や習慣を身に付けようとしている。 （思・判・表）学校行事を通して学校生活の充実を図り、大きな集団による集団活動や体験的な活動に協力して取り組もうとしている。 （主学）学校行事を通して身に付けたことを生かして、多様な他者と尊重し合いながら協働し、公共の精神を養い、よりよい生活をつくらうとする態度を養おうとしている。	【学校行事】 儀式的行事 ・始業式 ・終業式 学芸的行事 ・運動会	儀式的行事 ・ふさわしいマナーを身に付ける。 ・厳粛で清らかな気分を味わう。
		（知及技）自分自身の興味・関心やよさなどの個性を理解することができる。 （思判表力）日常生活について実現可能で具体的な目標を立てたり、意思決定したりすることができる。 （学・人）希望や目標を持って、自己のよさを生かして主体的に活動する態度を養うことができる。	（知・技）自分自身の興味・関心やよさなどの個性を理解しようとしている。 （思・判・表）日常生活について実現可能で具体的な目標を立てたり、意思決定しようとしている。 （主学）希望や目標を持って、自己のよさを生かして主体的に活動する態度を養おうとしている。	【学級活動】 「（３）一人一人のキャリア形成と自己実現」	キャリアパスポートを活用した取り組み。 ・自分自身の良さや好きなことを見つける、知る ・学期の目標をたてる ・目標達成に向けて主体的に活動する ・学期末に振り返る 等
二学期	2	（知及技）基本的な生活習慣や心身の健康の保持増進の大切さを理解することができる。 （思判表力）基本的な生活習慣や心身の健康の保持増進を意識した行動の仕方を考えたり、自分に合った方法を意思決定したりすることができる。 （学・人）基本的な生活習慣を身に付けたり、心身の健康の保持増進をしたりしようとする態度を養うことができる。	（知・技）基本的な生活習慣や心身の健康の保持増進の大切さを理解しようとしている。 （思・判・表）基本的な生活習慣や心身の健康の保持増進を意識した行動の仕方を考えたり、自分に合った方法を意思決定しようとしている。 （主学）基本的な生活習慣を身に付けたり、心身の健康の保持増進をしたりしようとする態度を養おうとしている。	【学級活動】 「（２）日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全」	夏休みや冬休みの過ごし方について考える。 ・早寝早起き、規則正しい生活 ・適度な運動習慣 ・家の人のお手伝い 等
		（知及技）児童会や委員会の活動について知るとともに、運営の仕方や異年齢集団による交流の仕方等を身に付けることができる。 （思判表力）児童会や委員会の一員として、学校生活の充実と向上を図るための課題や活動計画、役割等について話し合い、協力して取り組むことができる。 （学・人）多様な他者と互いのよさを生かして協働し、よりよい学校生活をつくらうと積極的に取り組む態度を養うことができる。	（知・技）児童会や委員会の活動について知るとともに、運営の仕方や異年齢集団による交流の仕方等を身に付けようとしている。 （思・判・表）児童会や委員会の一員として、学校生活の充実と向上を図るための課題や活動計画、役割等について話し合い、協力して取り組もうとしている。 （主学）多様な他者と互いのよさを生かして協働し、よりよい学校生活をつくらうと積極的に取り組む態度を養おうとしている。	【児童会活動】 ・児童会役員選挙 ・児童集会	児童会役員選挙 ・選挙規則や選挙の方法について知る。 ・投票箱や記載台を利用し、実際の選挙の雰囲気味わう。 児童集会 ・学年発表や挨拶などの割り当てられた役割を遂行する。
三学期	2	（知及技）互いのよさを見付け、互いを尊重し合い、仲よく生活することのよさや大切さを理解することができる。 （思判表力）互いの個性を尊重し合う人間関係を形成することができる。 （学・人）友達との関わりを通して自己理解を深め、互いに協力し合って温かな人間関係を形成しようとする態度を養うことができる。	（知・技）互いのよさを見付け、互いを尊重し合い、仲よく生活することのよさや大切さを理解しようとしている。 （思・判・表）互いの個性を尊重し合う人間関係を形成しようとしている。 （主学）友達との関わりを通して自己理解を深め、互いに協力し合って温かな人間関係を形成しようとする態度を養おうとしている。	【学級活動】 「（２）日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全」 「友達と仲良くしよう」	・スクーリング、居住地校交流への参加等
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 小学部 訪問（Ⅱ A課程） 道徳科 年間指導計画

単位数 ／配当時数		教科書／副教材等			担当者名
2					道徳担当1名
目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	2	① ・身近な大人の存在に気付き、親しみの気持ちをもつことができる。 ・気持ちのよい挨拶、言葉遣い、動作などに心掛けて、明るく接することができる。	① ・身近な大人の存在に気付き、親しみの気持ちをもとうとしている。 ・気持ちのよい挨拶、言葉遣い、動作などに心掛けて、明るく接しようとしている。	①新しい先生、新しい学年 【礼儀、親切、思いやり】	① ・スキンシップや触れ合い遊び等を通して新しい担任や環境に気づき、慣れる。 ・スクーリングなどで、普段会わない人から言葉をかけられた時に、自分でできる方法で応じる。
		②家族など日頃世話になっている人々に感謝することができる。	②家族との関わりに心地よさや喜びを感じ、安心感をもち、教師と一緒に感謝の気持ちを伝えようとしている。	②お父さんお母さんいつもお世話になっている皆さん、ありがとう 【家族愛、家庭生活の充実】 【感謝】	②母の日や父の日に向けて、絵本の読み聞かせや自分の家族紹介などを行い、家族への思いを伝える。
		③身近な大人と関わる心地よさを感じ、リラックスすることができる。	③身近な大人と関わる心地よさを感じ、リラックスしている。	③先生と遊ぼう 【信頼】	③教師と関わりながら、ふれあい遊びや揺れ遊びなどのいろいろな活動を経験する。 （温かい雰囲気の中で、子供の思いや欲求をありのままに受け止める関わりを行う。）
		④様々なものを見たり、触れたりして感動する気持ちをもてるようにする。	④様々なものを見たり、触れたりして感動したり、覚醒したりする。	④すてきだね 【感動、畏敬の念】	④季節の遊びや伝統行事を体験したり、身近な自然（動植物）に触れたりする。 ・子どもの日 ・プラネタリアム ・クリスマスイルミネーション ・季節の草花 ・エイサー ・ムーチャー ・スマイルフェア ・ひなまつり
		⑤自分のやるべき勉強や仕事をしっかりと行おうとすることができる。	⑤自分のやるべき勉強や仕事をしっかりと行おうとしている。	⑤今日のお勉強 【希望と勇気、努力と強い意志】	⑤自分のやるべき勉強や仕事にはどのようなものがあるかを知り、教師と一緒に取り組む。
		⑥身近にいる人に温かい心で接し、親切にしようことができる。	⑥身近にいる人に温かい心で接し、親切にしようとしている。	⑥心が気持ちいいね 【親切、思いやり】	⑥相手の考えや気持ちに気付き、親切にすることの大切さや親切な行為について学ぶ。
		⑦自分の特徴に気付いたり、気付いてもらったりして長所を伸ばそうとすることができる。	⑦自分の特徴に気付いたり、気付いてもらったりして、長所を伸ばそうとしている。	⑦～が得意だよ 【個性の伸長】	⑦今できることやできそうなことを生かして、様々な活動に取り組む。
留意点 引継ぎ等					